

○志摩市磯部ふれあい公園の設置及び管理に関する条例

平成16年10月1日

条例第124号

(設置)

第1条 スポーツを通じて住民の体力向上及び心身の健全な発達を図り、もって住みよい地域社会を形成することを目的とし、志摩市磯部ふれあい公園(以下「ふれあい公園」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条 ふれあい公園の名称及び位置は、次のとおりとする。

- (1) 名称 志摩市磯部ふれあい公園
- (2) 位置 志摩市磯部町恵利原557番地1

(事業)

第3条 ふれあい公園が市民の生涯スポーツ振興のため行う事業は、次のとおりとする。

- (1) 多目的広場、総合体育館、テニスコート(設備を含む。)の利用に供すること。
- (2) 前号に掲げるもののほか、生涯スポーツの振興に必要な事業

(管理)

第4条 ふれあい公園の管理及び事務は、志摩市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が行う。

(職員)

第5条 ふれあい公園に、所長のほか専門職員その他必要な職員を置くことができる。

(休業日)

第6条 ふれあい公園の休業日は、次のとおりとする。

- (1) 毎週月曜日(月曜日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日に当たるときは、その翌日)

(2) 年末年始(12月28日から翌年1月4日まで)

- 2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が特に必要があると認めるときは、これを変更することができる。

(利用時間)

- 第7条 ふれあい公園の利用時間は、別表に定めるとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めたときは、これを変更することができる。

(利用の許可)

- 第8条 ふれあい公園の施設のうち次に掲げるものを利用する者は、教育委員会の許可を受けなければならない。許可された事項を変更しようとする場合も同様とする。

(1) 多目的広場

(2) 総合体育館

(3) テニスコート

- 2 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、利用を許可しないものとする。

(1) 公益を害し、又は風俗を乱すおそれのあるとき。

(2) ふれあい公園の管理に支障を来すおそれのあるとき。

(3) ふれあい公園の施設又は設備を損傷するおそれのあるとき。

(4) ふれあい公園の設置目的に反すると認められるとき。

(5) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会において、その利用が不適当と認められるとき。

- 3 教育委員会は、ふれあい公園の管理上必要があるときは、第1項の許可に条件を付することができる。

(利用権譲渡等の禁止)

- 第9条 前条第1項の許可を受けた者(以下「利用者」という。)は、その権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(監督)

第10条 教育委員会は、ふれあい公園内の施設及び設備器具の保全その他管理上必要があるときは、利用者その他関係者に対して必要な指示をすることができる。

(特別の設備)

第11条 利用者は、ふれあい公園の施設に特別の設備をしようとするときは、あらかじめ教育委員会の許可を受けなければならない。

2 前項の設備に要する費用は、すべて利用者の負担とする。

(利用許可の取消し等)

第12条 教育委員会は、利用者がこの条例若しくはこれに基づく教育委員会規則に違反したとき、又は事故等により施設の利用が不適当な場合は、利用の許可を取り消し、又は利用を停止することができる。

(使用料)

第13条 利用者は、別表に定める使用料を納入しなければならない。

2 市長は特別な理由があると認めたときは、使用料を減額し、又は免除することができる。

(使用料の還付)

第14条 既に徴収した使用料は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、その全部又は一部を還付することができる。

(1) 利用者の責めに帰することができない理由により、利用することができないとき。

(2) 利用者が利用日の前日までに利用許可を取りやめ、又は許可事項の変更の申出をし、教育委員会が相当の理由があると認めたとき。

(3) 第12条の規定により教育委員会が利用の許可を利用前に取り消したとき。

(指定管理者による管理)

第15条 ふれあい公園の管理は、地方自治法(昭和22年法律第67号。以下「法」という。)第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて教育

委員会が指定するもの(以下「指定管理者」という。)に行わせることができる。

- 2 前項の規定によりふれあい公園の管理を指定管理者に行わせる場合は、第6条及び第7条の規定にかかわらず、当該指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ教育委員会の許可を得て、休業日を変更し、若しくは別に定め、又は利用時間を変更することができる。
- 3 第1項の規定により、ふれあい公園の管理を指定管理者に行わせる場合は、第8条、第10条から第12条まで及び第19条の規定中「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。

(指定管理者の業務)

第16条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) ふれあい公園の利用許可に関する業務
- (2) ふれあい公園の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)の徴収に関する業務
- (3) ふれあい公園の設備の維持管理及び軽微な修繕に関する業務
- (4) 第3条各号に掲げる事業の実施に関する業務
- (5) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会がふれあい公園の管理上必要と認める業務

(利用料金)

第17条 第13条の規定にかかわらず、第15条第1項の規定により、ふれあい公園の管理を指定管理者に行わせる場合は、ふれあい公園の利用者は、利用料金を納めなければならない。

- 2 利用料金の額は、第13条第1項の使用料の額の範囲内において、指定管理者が市長の承認を得て定める額とする。
- 3 指定管理者は、あらかじめ市長の承認を得て定めた基準により、利用料金の減額又は免除、その一部又は全部を還付することができる。

(利用料金の収受)

第18条 教育委員会は、前条の規定により納付された利用料金を、当該指定管理者の収入として収受させるものとする。

(原状回復の義務)

第19条 利用者は、利用を終わったとき、又は第12条の規定により利用の許可を取り消され、若しくは利用を停止されたときは、直ちに利用したふれあい公園の施設及び設備器具等を教育委員会の指示に従い、原状に復さなければならない。

(損害賠償)

第20条 利用者は、ふれあい公園内の施設及び設備器具等を損傷し、又は滅失したときは、市長が相当と認める額を損害賠償しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めたときは、その全部又は一部を免除することができる。

(委任)

第21条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成16年10月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日の前日までに、合併前の磯部都市公園条例(昭和62年磯部町条例第1号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

附 則(平成19年12月27日条例第40号)

(施行期日)

1 この条例は、平成20年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 ふれあい公園の管理を指定管理者に行わせる場合において、この条例の施行の日前に、改正前の志摩市磯部ふれあい公園の設置及び管理に関する

条例の規定に基づきなされた処分、手続その他の行為は、改正後の志摩市磯部ふれあい公園の設置及び管理に関する条例の規定によりなされた行為とみなす。

別表(第7条、第13条関係)

区分			単位			使用料	夜間照明使用料
午前9時～午後9時30分							
総合体育館	アリーナ	入場料を徴収	団体	2時間	半面	単 500円	
		しない場合			全面	単 1,000円	
		入場料を徴収する場合	団体	2時間	半面	5,000円	
					全面	10,000円	
					営利を目的とするとき		
	トレーニングルーム			個人2時間		単 100円	
	ミーティングルーム			団体2時間		単 500円	
テニスコート				1時間	一面	単 500円	1,000円
多目的広場				1時間		単 500円	3,000円

- 1 市外の者が利用する場合は、使用料は2倍の額とする。
- 2 利用許可時間を超えて利用した場合の使用料は、超えて利用した時間(1時間に満たない時間は1時間とみなす)ごとに当該使用料を加算する。
- 3 夜間照明利用時には、上記使用料と夜間照明料を合わせた金額とする。